

被災犬譲渡会



これが譲渡会の様子です。1頭1頭ボランティアさんがハンドリングしながら説明をしています。

全国からの支援物資・義援金・ボランティア 被災動物の預かりや新たな飼い主等 様々な形での沢山のご支援 心から感謝します！



今までお話しして来たことが私達が行ってきた活動ですが、全国からホールいっぱいになった支援物資や義援金、被災動物の一時預かりをしていただいたことが非常に大きな力になりました。改めて心から感謝いたします。

助けるためにわが身を守ることを考えて下さい。そして同行避難だと思います。誰よりも時間と手間がかかることを前提に、早め早めに行動できるように準備を進めていただきたいと思います。今回の震災でもそういう心構えの中で、ペットがいたから早め早めに逃げて助かったという方もたくさんいらっしゃいました。そのためには、防災訓練の中に同行避難訓練を是非入れていただきたいという事。ペット用の持ち出し袋の内容の検討、準備も必要だと思います。

また、同行避難できるようにするためには、町内会単位での話し合いで、学校教室をペットを同行して来た人のために開放してもらう事が良いのではないかと思います。それが不可能であれば、ロータリークラブを通して先程お見せしたようなシェルターボックスを要請していただいて、個別テントを設置するというのが現実的だと思います。そして同行避難した時に何より大事なことは、日ごろから地域に愛される飼い主と動物であることだと思います。人にとって精神的な支えであります動物たちの存在が、災害を乗り越えて前に進むための力になるという事を全ての方に理解していただく、という大きな務めが私達の役割だと強く考えております。本日は御清聴ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました！



【まとめ…どのような災害にも共通と考えられる準備事項】

自分の命を守る

- 飼い主と家族が助からなければ、わが子を守れません！
～まずはその準備から

同行避難

- もう一人の家族と一緒に避難できるように今から準備。
～誰よりも時間がかかり大変なことを前提に
～**万全の準備とイメージトレーニング**が必要です
～防災訓練の中にペット同行避難を！
～**ペット用非常持ち出し袋**・テントの準備

ペットを受け入れてもらうために

- 町内会単位でペット同行避難を理解し、準備を進めるような地道な活動
- 学校教室を開放し、ペットを同行した人の場所を確保。
- 人と動物が家族単位でともに過ごせる**個別テントの設置**～ロータリークラブとの提携による**シェルターボックス**の活用とその設置場所の確保
- 何より、マナーを守って、**日ごろから地域に愛される存在に！**



まとめです。今回の震災の経験と反省を踏まえた災害に備えての飼い主の心構えと準備のお話をしたいと思います。犬猫は飼い主に全てを依存しております。まずはわが仔を ↗